

タイの女の子との出会い

バンコクから北西に7時間、230キロの行程を辿りましょう。始めは平坦な道路を、しばらくして丘の道、そして曲がりくねった細い道を進むとビルマとの国境近くにある美しい景観のサンクラブリの村に(Sangkhlaburi)到着します。タイ王国最長の橋と、美しい自然があります。

滝、ジャングル、感動的な朝日、夕日を見たい方々にとってはまさに天国です。しかし、地域住民にとってはパラダイスではありません。政治的な検問が各所にあり、遠方への旅行はほとんど許されません。教育、医療を受けたり、より良い就職先への道は閉ざされています。

一年ほど前、この地区の“キャンドルライト”と言う福祉団体を通じて、車いすを寄付しましたが、今回私は6台の車いすを携え施設と村の見学に行き、以前車いすを受け取った方のその後の様子を知ることができました。案内をしてくださったのはフィリピン出身のリアさんという看護師です。彼女は、20年前に2年間奉仕する予定でタイに行き、現在も働いています。彼女は“キャンドルライトプロジェクト”の責任者で、様々な必要を抱えていらっしゃる方々を毎週訪問します。

私も彼女の運転するオートバイの後部座席に乗り、家庭を訪問しました。



お土産として東京ローアバプテスト教会の皆様から寄付された、美しい絵つきの石鹸を届け、とても喜んでいただけました。でも本心は、沢山の車いすも一緒に届けたかったと思いました。



訪問したご家庭で、時計が置いてあった家は一軒だけでした。村では時間がゆっくり流れています。床に座り赤ちゃんを抱き、お母さんと話をしました。

リハビリの成果を見せてくれる子ども達に、「これからもリハビリ続けてね。」と励ましました。看護師が、母親の様々な質問に答えるなか、車椅子の切実な必要性が訴えられました。歩行不可能な子ども達は、両親が畑で働く間一人で留守番をしますが、マン

マー兵士により恐ろしい危険な目に会うことがあります。豊饒に見える緑のジャングルは、そこに住む方々の飢えと貧困の生活とあまりにも対照的でした。脳性小児麻痺を患った一人の10歳の女子は、父親が夕方帰宅するまで一日中一人で床に寝かされています。母親は1年前他界しました。排泄の処理ができないため誰かが行かなければ一日中濡れた衣服を着たままです。彼女が見せてくれた笑顔は美しい本物の笑顔でした。誰かが訪問に来たことが嬉しかったようです。彼女は外出も希望しています。父親の一年分の収入を合計しても車いす購入代金に満たません。この女の子にとって車いすに座ることは夢ではありません。どうか彼女の希望をかなえるお手伝いをして下さいませんか？



発起人
アリー・ペナー

★ NPO法人認証

「希望の車いす」は2月20日NPO法人として認証されました。申請のための書類作成、提出の課程において、数名の方々の多大なるご尽力を頂きました。心から御礼申し上げます。

★ チャリティーコンサート

12月15日、立川市で開催されたハレルヤゴスペルファミリーのコンサートは大盛況でした。「希望の車いす」を紹介するパワーポイントが上映され、理事の一人がクワイヤーで歌いました。20台の車いすを4月末にフィリピンに寄贈する輸送経費のため募金箱を設けました。ご協力感謝いたします。

★ サンクラブリで撮った写真

去年車いすを受け取った方と。



バイクに乗るのは久しぶり!

★ 車いすの行き先

12月3日 … 1台
タイ、チャンマイ
12月5日 … 2台
タイ、バンコク

初めてクリーニングに参加して

理事 川地ユリア

2007年11月16日に初めて「希望の車いす」のクリーニング・デイに参加しました。何ができるのか具体的には分からなかったのですが、行ったこと、本当によかったです。部屋の中で車椅子を磨いたり置いている人がいて、私たちも行ってすぐに道具をもらい、車いす磨きに取りかかりました。思ったよりさび落してどんどんきれいになっていくのでびっくりしました。結構楽しかったです！車椅子がきれ



お友達(左) 川地さん(右)

いになっていくとなんだか自分も嬉しくなり、楽しかったです。友達は、「一人の思いと、沢山の人の協力であんな素晴らしいことができるのだなあと思いました。ふだん味わえない心地よさがありました。ありがとうございました！」と言って喜んでくれました。神様の恵みで、車いすが日本からいろんな国、そしていろんな人の元に届けられるということは嬉しいことです。改めて神様の深い御恵みと愛を感じました。またぜひ参加したいと思っています！今度は娘も連れて行きたいと思っています。感謝です！



春のクリーニングデー

日時：4月4日(金)、4月11日(金)
10am ~ 4pm

東久留米市 新川町1-2-12 1F 多目的ホール
(西武池袋線 東久留米駅から徒歩2分)

4月半にフィリピンから来日するグループを過ぎて20名送る予定です。ご都合の付く時間帯に作業用の服をご準備の上、どうぞご参加ください



当日連絡先 0424-58-8106 (事務局)
090-6010-9386 (ペナー)

※ 海外旅行にお出かけの際に車いすを預けてみませんか？ 関心のある方はご連絡下さい ※

※ ご協力、ご寄付

ありがとうございます ※

新生命教会様、タイ航空様、JDF様、
モーガン・スタンレー様、大和キリスト教会様、
久留米キリスト教会様、山形ろうきん教会様、
東京ローアバプテスト教会様、Para-Life様、
ハレルヤゴスペルファミリー様、
市川児童教会様、市川子ども発達センター様、
日本ワイール・ケアー(株)様 (続不詳)

※ 会計報告 2007年4/1~2008年1/31 ※

収入		支出	
団体寄付金	991,192	経費	1,023,712
個人寄付金	309,000		
企業寄付金	0	(雑益等、企業代金)	
募金寄付金	1,283,308		
個人会費	5,000		
団体会費	10,000		
計	2,599,498	計	1,023,712
前月繰越	876,804	次月繰越	2,445,590
合計	3,476,302	合計	3,469,302

希望の車いす

「希望の車いす」の会

発起人：ペナーユリア
事務所：〒203-0013 東京都東久留米市新川町 1-2-12-106
Tel/Fax: 047-338-7101
Eメール: info@k-kurumitsu.org
郵便番号: 007803-086354 希望の車いす